



9条こわすな 市民アクション講演会

一つくば市平和の会

「改憲をめぐる新たな情勢と九条のちから！」



【渡辺治先生の講演会報告】

講演会一週間前になっても申し込みが少なく心配しましたが、会場参加・ZOOM参加を合わせて100人の参加者がありました。

二つの視点から講演会報告をします。

1) 岸田政権は、なぜ改憲・9条破壊を押し進めるのか？

改憲策動のねらいは何か？

- ・米国の圧力により、9条改憲し集团的自衛権によって、軍隊としての自衛隊を台湾有事に参加させたい。

2) 私たちは、改憲・9条破壊にいかに立ち向かうか？

- ・軍事では戦争は避けられない。9条の力で戦争しない国として平和外交で戦争を回避する。その道すじは、安倍

政治を継承する岸田政権に、統一教会と自民党（及び自民党国会議員）との関係が無かったことにさせず、明らかにする。また、国会を通さず内閣・行政権力で安倍国葬を決めるという憲法違反を正すことによって、9条改憲阻止の運動へと広げる。とのことでした。

- ・また、今年の参議院選挙の結果にも触れ、自民党がこれだけ悪いことをしているのに勝った。その理由は、32の1人区の多くの選挙区で、野党共闘が出来なかったこと。野党第1党の立憲民主党が連合のいいなりとなり支持者が離れ（又は失望し）、472万票・7.23%票を落とした。
- ・因みにこの票は自民党には入っていないという。改憲を阻止するには、市民と立憲野党との共闘は必要です。9条改憲を阻止するため、9条の力=軍隊を持たない=戦争できない=平和外交。

という運動の重要性を再認識しました。

【つくば市平和委員会事務局長 荒井陽一】

常陸太田平和の会

安倍元首相の「国葬」反対！スタンディング

市内で一番交通量のある街角に立つ

台風14号の影響か、9月18日（日）は早朝から湿っぽい風が吹き、7時頃には雨足が強くなりました。雲の切れ間も見えず、11時から予定していたスタンディングを心配しました。その後も雨は降ったり止んだりがあったものの、30分余、雨の合間を縫って、「安倍元首相の“国葬”に反対します」と声を上げることができました。白田義昭会長など男性5人と7月に加入された宇佐美憲子さんにも参加していただきました。

市役所から北へ300mほどのところに内堀町交差点があります。近くにはスーパーマーケットや焼き肉店、コンサートホール・市立図書館などの公共施設もあり、市内でもっとも交通量のある場所です。4月23日には「ロシアによるウクライナ侵略反対」行動に取り組みました。

この日の行動は、9月13日（火）の事務局会議で決めました。19日の当日は、横断歩道を挟んでプラカードを掲げ、「安倍元首相は、反社会的集団の旧統一教会と関係の深く、国葬に相応しい人物ではありません」と訴えました。

赤信号で停止した車の中であらゆる人、手を振ってくれる人など様々な反応がありました。

【常陸太田平和の会】



平和公園の作業案内 【百里の会から】

日中の気温は30℃近くになっても朝夕は涼しさが感じられるようになりました。9月11日(日)は、日射しもあり気温は高かったのですが、涼しい北東からの風が吹き、作業のしやすい一日になりました。

5人の参加者は、日本山妙法寺の石塔の建っている



区画と進入路の入り口部分の草刈りを行いました。雑草は丈を伸ばしていたため、少し苦労しながら

ら刈り払い機で刈り取りました。熱中症を避け、疲労を残さないために、草はまだ残っていますが、作業は午前中で終了しました。

次回は、公園への進入道路とお堂のある区画の草刈りを行いますので、参加をよろしくお願いいたします。

日時 10月9日(日) 9時30分~(雨天延期)

場所 百里平和公園

作業内容 草刈りなど整備作業

準備 作業できる服装 **○昼食は用意します。**

連絡 百里の会 (080-9457-6381 伊達所持)

・風間 道夫 (090 2339 0025)

・梅沢 優 (080 1172 3075)

・栗又 衛 (090 2213 8339)

※参加の連絡なしでも結構ですが、上記に連絡をいただければ幸いです。

東海第二原発はいらない!首都圏ネットワーク 主催

「とめよう!東海第二原発再稼働 一斉行動」に参加

9月9日~11日で全国各地で「とめよう!東海第二原発再稼働 一斉行動」が行われました。昨年9月から始まったこのアクションは今回で5回目、福島県から長崎県までの65箇所で、様々な団体・個人が工夫を凝らし通行の人たちにアピールしました。

茨城では9日(金)に石岡平和の会が国道6号線沿いでスタンディングを行いました。それぞれのプラカードをかかげたり、行き交う車に手を振る恒例のスタイルでアピール、会釈をしたり手を振り返してくれるドライバーも見受けられ



石岡平和の会

ました。

11日(日)には「鹿嶋九条の会」が定例スタンディングを兼ねて行いました。17名が参加、チラ

シを配布しました。以前に寄付してくれた小学生の男の子、チラシを受け取り読んでくれました。通行の人と対話も交えて楽しく行動したとのこと。

県内は他に東海、つくば、土浦、牛久、龍ヶ崎が参加しています。今後も3ヶ月おきに(次回は12月の予定)計画されています。他の地域でも参加が増え、全ての市町村まで広がればと思います。詳細は「とめよう!東海第二原発首都圏連絡会」HPをご覧ください。(石岡平和の会)



鹿嶋九条の会

首都圏連絡会 HP



憲法違反の「安倍国葬」に半旗を掲げ、弔意を強要する笠間市長に、抗議の申し入れ! 県平和委員会

笠間市の山口市長は、9月27日(火)の「国葬」当日、市の公共施設に半旗を掲げ、市職員には黙祷を指示するとしています。県内の市町村では初めての動きです。これに対して県平和委員会は、抗議の申し入れを文書で行いました。

また安倍元首相の国葬に対して、茨城県の大井川知事は「公費で参加する。県庁に弔意を示す半旗を掲げる」と記者会見で発言しました。また県議会の井沢勝徳議長も公費で参

列するとのこと。これに対して、県内の弁護士12人が「大井川知事が『国葬』に公費を支出して参列することになれば、憲法違反で法的根拠のない行為で、地方自治法に違反する」として、9月15日、「支出の差し止めを求める住民監査」を請求しました。請求が受理されれば、県の監査委員が監査を行い、結果は60日以内に示されます。内容は県平和委員会FBページをご覧ください。

茨城県平和委員会 Facebook

